

りそなグループの社会的責任投融資に向けた取組み

りそなグループでは、「りそなグループCSR方針」「環境方針」「りそなグループ人権方針」等の策定や、国連グローバル・コンパクトや責任投資原則 (PRI: Principles for Responsible Investment) などの国際的に認知されている規範や原則への賛同を通じ、重要な社会課題の解決に向けた自らの考え方を表明しています。

こうした考え方は、投融資の意思決定プロセスにも組み込まれており、環境・社会に対する影響を配慮した投融資を行っています。

融資における取組み

融資業務における環境配慮の考え方

当社グループは、持続可能な社会づくりに貢献するため、環境に配慮した商品・サービスの開発・提供などを通じてお客さまの環境保全活動を積極的に支援することは、金融機関の重要な責務であると考えています。

したがって、融資を通じて、お客さまの環境に配慮した取組みを積極的に支援していく一方で、環境に重大な負の影響を及ぼすおそれのある開発プロジェクト等への融資は行いません。

具体的な取組み内容

上記環境配慮の取組みを具体化するため、当社グループにおける信用リスク管理の基本原則である「クレジット・ポリシー」に、融資業務における環境配慮の考え方を新たに明示しました。

また、大型プロジェクト等が環境に及ぼす影響やお客さまの環境に配慮した取組みを適切に把握・評価するための体制・手続を整備しました。

今後の対応

今後は、大型プロジェクト等への融資を検討するにあたり、そのプロジェクト等が環境に及ぼす影響やお客さまの環境に配慮した取組みを適切に把握・評価するために定めた手続に基づき、環境への影響の内容や大きさ、環境配慮の取組み状況について確認

を行います。環境に負の影響を及ぼすおそれがあると判断した場合には、その改善に向けた働きかけを行います。

また、社内への啓発を通じて、環境に配慮した融資の重要性について、継続的な従業員の意識向上にも努めます。

当社グループは、環境配慮に関する知見・ノウハウの蓄積に努め、お客さまの環境に配慮した取組みをご支援させて頂くことで、持続可能な社会づくりに貢献していきます。

投資における取組み

投資における社会・環境配慮の考え方

りそな銀行は2008年に国連のPRIに署名して以来、機関投資家の一員としてESG(環境・社会・ガバナンス)を念頭に置いた取組みを進めています。

・「責任投資にかかる基本方針」へのリンク (<http://www.resona-gr.co.jp/resonabank/nenkin/sisan/ri/>)

日本版スチュワードシップ・コードに受入表明し、責任ある機関投資家として、投資が社会や環境に多大な影響を及ぼすことを認識し、「責任投資にかかる基本方針」を定めています。

具体的な取組み内容

個別企業の調査・分析を行う際は、企業戦略・業績・リスク・資本構造等に加え、ESGにかかる課題の把握に努め、総合的な投資判断を行っています。2014年度は、日本版スチュワードシップ・コードに則り、既存の投資先の社会的責任の遂行状況等について定期的に投資先と対話を行い、認識した状況の共有や、取組み改善の要請も実施しています。

また、りそな銀行が運用者として株主議決権を行使できる株式については、ESG調査・分析や対話の結果を踏まえ、原則としてすべての議決権を行使しています。

これらの取組みが適切に行われているかについては、信託財産運用部署の担当役員等が参画する「責任投資会議」において、会議メンバーの知見を結集して対応にあたっております。

今後の対応

ESG要素を踏まえた企業評価と、対話を通じた企業価値及び社会・環境価値創造に向けた取組みのさらなる拡大を目指します。